

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	<p>●研究の名称</p> <p>進行または再発非小細胞肺癌患者における腫瘍浸潤クローン性造血の臨床的意義の探索研究：がんゲノムプロファイリング検査のデータベースを用いた後ろ向き研究</p>
	<p>●研究の対象</p> <p>全国のがんゲノム医療中核拠点病院・拠点病院・連携病院において、進行または再発非小細胞肺癌に対して保険診療でがんゲノムプロファイリング検査を受けた方</p>
	<p>●研究の目的</p> <p>造血幹細胞に生じた体細胞変異により、特定の血球系統がクローン性に拡大する現象をクローン性造血と呼びます。この中で、血液疾患の診断基準を満たさず、白血病関連遺伝子に病的意義のある変異を有する場合は、Clonal hematopoiesis of indeterminate potential (CHIP) と呼ばれます。</p> <p>非小細胞肺癌の腫瘍組織に CHIP 由来の免疫細胞が存在していると、手術治療後の生存期間が短いことが近年報告されました。しかし、進行または再発非小細胞肺癌患者さんの治療経過と、腫瘍組織における CHIP 由来の免疫細胞の存在との関連は不明です。この研究では、保険診療でがんゲノムプロファイリング検査を受けた患者さんのがん関連遺伝子異常のデータと臨床情報データを利用して、腫瘍組織におけるCHIP由来の免疫細胞の存在が治療効果にどのように影響を与えるか、治療内容別に明らかにすることを目的とします。</p>
	<p>●研究の期間</p> <p>研究機関の長による実施許可日 から 2030 年 7 月 31 日まで。</p>
	<p>●利用又は提供を開始する予定日</p> <p>研究機関の長による実施許可日</p>
	<p>●他の機関に提供する場合には、その方法</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	がんゲノム情報管理センター（C-CAT）の利活用検索ポータルへ研究者がログインし、下記項目に記載している情報を収集します。収集する情報には個人を特定できる情報は含まれていません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 情報：病歴、治療歴、がんゲノムプロファイリング検査によって明らかとなったがん関連遺伝子異常の情報、治療効果、生存転帰、等
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 研究機関： 浜松医科大学 須田隆文 既存試料・情報の提供を行う機関： 国立がん研究センター がんゲノム情報管理センター
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	本研究で用いる情報は特定の個人を識別できない状態に加工されており、特定の個人に遡ることができません。そのため研究の対象になっているかを判断することができず、情報の使用の停止に応じることができません。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。
《情報の開示》	本研究で用いる情報は、特定の個人を識別できない状態に加工されており、特定の個人に遡ることができないため、お問い合わせがあっても情報の開示をすることができません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

「問い合わせ先」	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 内科学第二講座 担当者： 井上 裕介 TEL： 053-435-2263 E-mail： yinoue@hama-med.ac.jp
----------	--